

ネットワーク統合事例

菊名記念病院 様

医療情報系と事務系ネットワークを統合
営業・保守の迅速な対応が導入の決め手に



菊名記念病院
医療情報システム室 課長
和田 耕一氏



菊名記念病院
医療情報システム室
江上 岳一氏

<事例のポイント>

課題背景

- ・院内ネットワークの老朽化による故障増加への対応が必要
- ・事務系ネットワークの保守対応に時間を要しており、運用保守体制の見直しが必要
- ・アクセスポイントの不足により、不通エリアが存在

成果

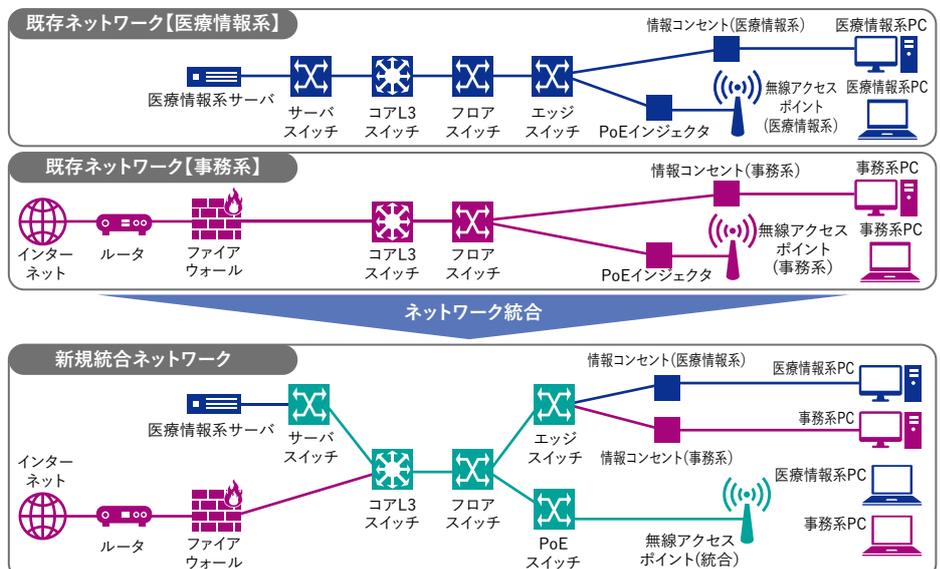
- ・ネットワーク機器を一新し、安定稼働と保守運用コストの低減を実現
- ・医療情報系と事務系のネットワークを統合し、保守窓口を一本化
- ・医療DXを考慮し、現場の要望に柔軟かつ迅速に対応したことで職員の満足度が向上



お客様名: 菊名記念病院
所在地: 神奈川県横浜市港北区菊名4-4-27
会社概要: 1991年7月開院。同院が属する医療法人五
星会を含む4つの医療法人と1つの社会福祉
法人で構成される横浜メディカルグループ
(YMG)の基幹病院である。神奈川県東部
における急性期医療に特化し、年間8000台の
救急車を受け入れ、24時間365日、緊急手術・
カテーテル治療にも対応可能な診療体制を
整えている。病床数は218床(特定集中治療
室10床、脳卒中ケアユニット11床含む)。



● 医療情報系と事務系ネットワーク統合後の構成図



＜導入の背景や課題＞ 医療DXに対応すべくネットワークの安定稼働が課題に

医療サービスの向上、職員の作業効率向上といった観点から、病院内のデジタル化は不可欠となっています。そうしたデジタル化の進展の基盤となるのが、安定性・信頼性の高いネットワークの構築です。

菊名記念病院様では、電子カルテシステムや検査システムといった医療行為から会計まで一貫した医療情報システムを運用するためのネットワークと、インターネット利用や職員がメールなどに活用する事務系ネットワークが設けられていました。基幹システムである医療情報系ネットワークはベンダ保守を実施していましたが、事務系ネットワークは保守契約を交わさず、ネットワーク機

器メーカーに故障時の対応を依頼していたといえます。

医療情報系ネットワークの運用が7年を迎えたころ、事務系ネットワークの故障も目立つようになりました。「事務系ネットワークも古くなり、機器の不調や故障が気になっていました。しかしメーカーに修理を依頼しても、早くても半日から1日程度の時間がかかります。その間は事務系システムが使えず、インターネットが使えなかったりメールが送受信できなくなったりするため、業務が止まってしまいます。運用保守体制は早急に改善する必要があります」と、菊名記念病院医療情報システム室の和田耕一課長は話しています。

医療情報系のネットワークについて和田課長は「大きなトラブルはなかったものの、運用開始から7年も経てばサイバー攻撃への対応などのアップデートは必要です。ネットワーク運用の効率化やセキュリティの向上を狙って、医療情報系のネットワーク更新を機に事務系ネットワークの運用改善を図ることを目指しました」とネットワーク統合の経緯を語ります。

そこで院内にあるサーバの保守を担当するNECフィールドイングに相談したところ、「驚くくらい速くレスポンスがあり、すぐにネットワークの担当者を紹介してもらえました」と和田課長は話します。

＜選択のポイント＞ 万全の保守体制と導入事例の多さが後押しに

NECフィールドイングの提案内容は、医療DX及びセキュリティ面を考慮した上で医療情報系と事務系のネットワークの統合によって機器台数を削減し、コスト抑制、障害ポイント削減を図るというものでした。保守窓口をNECフィールドイングに一元化し、障害対応工数削減にもつなげる狙いです。さらに、アクセスポイントの設置について、経験を基に再配置案を提示しました。

ネットワーク更新においては、NECフィールドイングを含めて3社の提案が比較検討されました。見積額や提案された機器の性能などに大きな違いは見られなかった中、サポート体制には差があったそうです。和田課長は「NECフィールドイングにはもともとサーバ保守を委託していたので、保守品質の高さは分かっていました。医療機関向けの導入実績も豊富で、医療分野に精通していると

いう安心感もありました」と語ります。また、NECフィールドイングの拠点は菊名記念病院様から車で30分圏内にあるため、トラブルが起こった時にも迅速にサポートが受けられるという期待を寄せていただきました。

加えて、NECフィールドイングが持つノウハウや情報量の多さも評価ポイントになりました。医療情報システム室の江上岳一氏は、「NECグループの企業としてメーカー側の情報を知っていることや、全国に保守拠点が数多くある知見を持っていることを踏まえると、何かあったときにも安心して問い合わせられるという信頼感がありました」と話します。

ネットワーク更新に際しては院内業務の効率化、スタッフの働きやすさ向上に加えて、機器の故障や障害が発生した場合にも院内への影響を最小限

にとどめられるか、という点が重視されました。NECフィールドイングの提案内容や保守体制は、これらの重要ポイントを満たしていると評価されました。

ネットワーク更新は2022年秋から具体的な検討が行われ、2023年夏に更新作業が始まりました。NECフィールドイングでは、設計や機器構成においてお客様とディスカッションを重ね、よりよい構築を実現し、機器入れ替えの際は極力院内業務に影響が出ないように進めました。現場の機器入れ替えに立ち会った和田課長からは「設計段階から我々の要望をよく聞いていただいたので、特に大きな心配はありませんでした。実際の作業も土日や夜間を中心に行われたので、院内業務への影響もなくスムーズに進みました」と評価いただきました。

＜導入の成果＞ ネットワーク統合と通信環境の改善で業務効率や職員の利便性が向上

医療DXを考慮し、働き方改革の一環としてWi-Fi環境の再構築も行いました。従来はワークスペースや一部の病棟で通信が不安定になることもあったそうですが、アクセスポイントの配置を変更するなどして通信環境は大きく改善しました。

現場からの問い合わせに対応する江上氏は、NECフィールドイングの対応は期待以上だと語ります。「我々が対応に苦慮するような問い合わせにも、すぐに回答してもらえることには驚きました。対応があまりに早いので、こちらが慌てることも

あるぐらいです」と喜んでいただいています。

また、お二人はお客様要望に対する柔軟な対応についても評価されています。「アクセスポイントを設置した後、期待した通信速度が出ない場合もあります。計画通りにいかないことでも、他病院での対応実績を基にカバーしていただいたのでNECフィールドイングに任せてよかったと感じています」（和田課長）、「小さな疑問でも相談すると、現場に沿った提案を迅速に行っていたので、いつも助かっています」（江上氏）とコメントいた

できました。

NECフィールドイングでは、菊名記念病院様以外にも横浜メディカルグループに属する他の医療機関にも保守サービスを提供しています。「今後は医療情報ガイドラインに基づくセキュリティ対策を強化していきたいです。病院ごとに特性があり共通仕様でというのはなかなか難しいですが、NECフィールドイングには医療DX推進に向けて引き続き支援してもらいたいと思います」（和田課長）と期待が寄せられています。

お問い合わせは、下記へ
NECフィールドイング

デジタルビジネス統括部 医療SLグループ
URL : <https://www.fielding.co.jp>
E-mail : medical-ss@fildg.jp

- 本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品の輸出(非居住者への役務提供などを含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法など、関連する輸出管理法令などを確認の上、必要な手続きをお取ください。ご不明な場合、または輸出許可など申請手続きにあたり資料などが必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。
- 本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。